

ブロック塀等の安全点検をお願いします！

6月18日に大阪府北部を震源として発生した地震では、倒壊したブロック塀等により小学生を含む2名の方が亡くられる大変痛ましい事故が発生しました。

古いブロック塀は、劣化や鉄筋の不足等により、地震時等に倒壊のおそれがあります。また、新しいブロック塀でも、現行基準に適合していない場合がありますので、ご注意ください。



現行基準に適合せず転倒したブロック塀

■塀の安全確保は所有者の責務です！

ブロック塀等が倒壊し、人身損害を発生させた場合、損害賠償責任を負う可能性があります。

ご自宅の塀の安全点検を行っていただき、傾きやひび割れといった劣化が見られる場合や、ひかえかべ控壁が無い等基準に適合しない場合には、**施工業者等の専門家に相談**しましょう。

また、安全点検の結果、**危険性が確認された場合には、付近通行者への速やかな注意表示と、補修・撤去等**を行いましょう。

裏面の点検表を使って点検をお願いします！

点検の結果、安全性の疑義などご不明な点がございましたら、

下記の相談窓口までお問い合わせください。

●総合相談窓口

- ・長野市建設部建築指導課

電話：026-224-5076 Fax：026-224-5124

長野市では、危険なブロック塀等の除却費の一部を補助しています。

(除却費用の1/2 上限5万円)

●詳細な調査に関する相談（現地調査については有料となる場合があります）

- ・長野県建築士事務所協会長野支部 電話：026-267-5055 Fax：026-225-9088

- ・長野県エクステリア建設業協会

理事：若穂工建

電話：026-282-5972 Fax：026-282-3972

●除却等の工事に関する施工業者の紹介

- ・長野市建設業協会

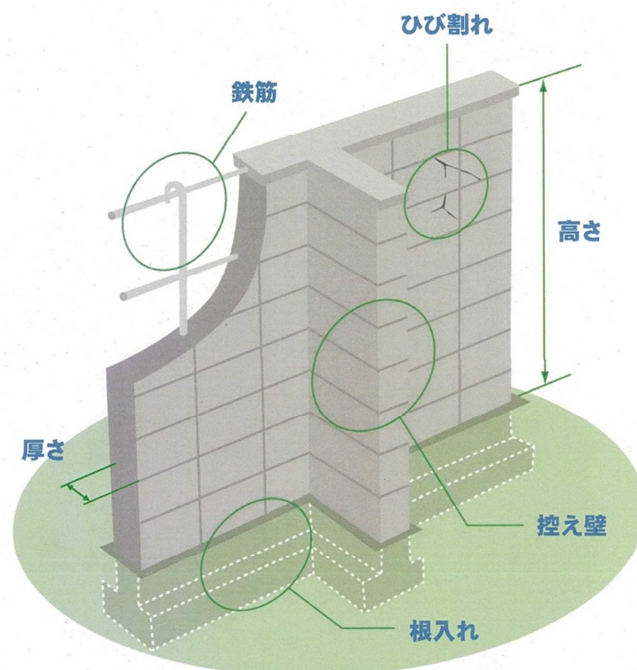
電話：026-224-3660 Fax：026-228-6231

■ブロック塀の点検のチェックポイント

ブロック塀について、以下の項目を点検し、ひとつでも不適合があれば危険なので改善しましょう。

まず外観で1～5をチェックし、ひとつでも不適合がある場合や分からないことがあれば、専門家に相談しましょう。

- 1. 塀は高すぎないか
 - ・塀の高さは地盤から 2.2m以下か。
- 2. 塀の厚さは十分か
 - ・塀の厚さは 10cm 以上か。(塀の高さが 2m超 2.2m 以下の場合 は 15cm 以上)
- 3. 控え壁はあるか。(塀の高さが 1.2m超の場合)
 - ・塀の長さ 3.4m以下ごとに、塀の高さの 1/5 以上突出した控え壁があるか。
- 4. 基礎があるか
 - ・コンクリートの基礎があるか。
- 5. 塀は健全か
 - ・塀に傾き、ひび割れはないか。



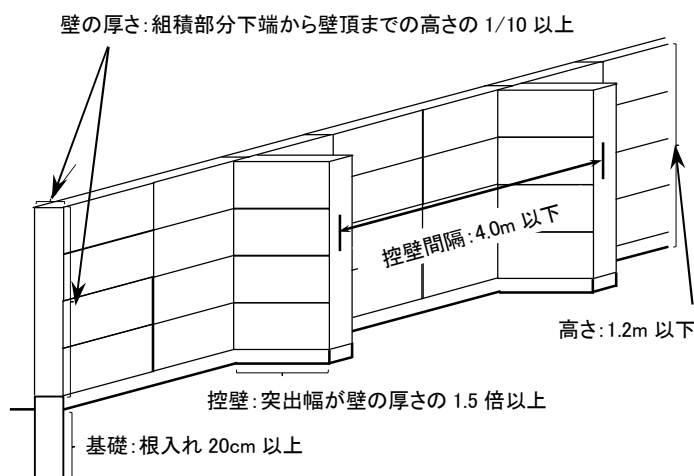
<専門家に相談しましょう>

- 6. 塀に鉄筋が入っているか
 - ・塀の中に直径 9 mm 以上の鉄筋が、縦横とも 80cm 間隔以下で配筋されており、縦筋は壁頂部および基礎の横筋に、横筋は縦筋にそれぞれかぎ掛けされているか。
 - ・基礎の根入れ深さは 30cm 以上か。(塀の高さが 1.2m超の場合)

出典：パンフレット「地震からわが家を守ろう」日本建築防災協会 2013. 1 より一部改

■組積造のへい 点検のチェックポイント

- 1. 高さは **1.2m以下**である。
- 2. 壁の厚さは、組積部分下端から壁頂までの高さの **10分の1以上**である。
- 3. **長さ 4m 以下ごとに**、壁面からその部分の壁の厚さの **1.5 倍以上**突出した**控え壁**がある。(【2】の基準の壁の厚さが 1.5 倍以上ある場合、控え壁がなくても【3】はチェックしてください。)
- 4. 基礎の根入れ深さ(地中部分の深さ)が **20cm 以上**ある。
- 5. 著しいひび割れ、破損又は傾斜がない。(ぐらつき、傾斜がない。ブロックのずれがない。)



※上記チェックリスト全てにチェックがされたものが、安全な塀です。

※1つでもチェックが入らない項目があれば、補強等の改善が必要です。